

2022年度通常公募 団体情報シート				
団体名	公益財団法人地域創造基金さなぶり		団体web サイトURL	http://www.sanaburifund.org
申請事業名	若年困窮女性の孤立防止と経済的自立支援		申請受付番号	220126
主眼	若年女性特有の困難を軽減しその自立に寄り添う事業		申請事業の分類①	①草の根活動支援事業
副眼	若年女性特有の困難を軽減しその自立に寄り添う事業		申請事業の分類②	①-2 地域ブロック
			申請事業の分類③	東北ブロック(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)
優先すべき社会の諸課題選択科目				
領域①	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	領域②	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	
分野①	⑥ 女性の経済的自立への支援	分野②	① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援	
	-		-	
領域③	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	領域④		
分野③	⑧ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援	分野④		
	-		-	
	-		-	
申請事業概要				
<p>若年女性を対象に「①支援資源への接続の向上」「②支援資源の拡充」「③継続した関わり」の取組みを行う実行団体へ助成を行う。同分野における活動実績のある実行団体を想定し、①支援資源への接続の向上：SNS等の情報過多、専門性や対応領域の細分化等によって、相談者がたらい回しにされないよう、まずは相談を一元的に受け、その後適切な相談機関や支援機関・団体へつなげる受付機能を構築する。②支援資源の拡充：既存の相談事業やアウトリーチ、同行支援、シェルター等の事業の質と規模の拡充を通じ、より多くの若年女性が心身共に休息を得て、支援を受けられるようにする。③継続した関わり：自立にむけた支援として従来の就労支援等に加え、就労後も継続的に関われるプログラム等を確立する。就職は支援者にとって一区切りであっても、支えになる親も家庭もなく、他者に支えられながら困難を乗り越えた経験の少ない本人にとっては、新たな荒波の中の航海の始まりである。特に就職直後2-3年は大切であり、現行制度では不可能な支援を実現したい。前述の①～③に加え、非資金的支援として主に実行団体を対象に3年かけて人材育成を図るプログラムも実施する。</p>				

団体組織情報		
1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	2011/06/20
	法人格取得年月日	2014/07/01
2	●団体概要	
	団体概要	地域の課題解決のための寄付等の資金調達、資金提供+ノウハウ提供等を実施するコミュニティ財団。2011年の東日本大震災を契機に全国324人の市民によって設立。当初は岩手、宮城、福島+県外避難者支援事業を対象とする助成事業を実施。発災5年を契機に、自然災害からの復興から、地域課題の解決支援をより強化。熊本地震やコロナ禍では、緊急支援として活動地域を全国に広げ、助成実施や団体支援を行った。
3	●代表者情報	
	代表者名	大滝 精一
	代表者の役職	理事長
	代表者名 2	
	代表者の役職 2	
4	●役員	
	役員の数	21人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の人数	2人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	0人
5	●事務局職員	
	職員・従業員合計	6人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	2人
	常勤・有給・無期	1人
	常勤・無給(有期・無期)	0人
	非常勤・有給・有期	3人
	非常勤・有給・無期	0人
	非常勤・無給(有期・無期)	0人
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	異なっている
7	●区分経理・帳簿	
	1.必要な会計帳簿が備えられている	はい
	2.業務別に区分経理ができる体制である	はい
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	①監事を実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	177件
2	前年度の助成総額 (円)	195,398,000
3	<p style="text-align: center;">助成事業の実績内容</p> <p>◆平成23年～28年度：セーブ・ザ・チルドレンジャパン「こども☆はぐくみファンド」・岩手県、宮城県、福島県・子ども支援（4.7億円/133団体の支援：30万円～500万円/単年度・複数年度+助成先への個別支援+集合研修）◆平成25年～28年：サントリーホールディングス「フクシマ ススム プロジェクト」（2.9億円/65団体の支援：500万円～1000万円）◆平成29年度：宮城県 塩釜市・Shiogamaこども"ほっと"スペースづくり支援プログラム 再契約事業者：助成事業担当（2か年・400万円）◆令和元年 東北CBLEAP基金（700万円/3 団体の支援：250万円）◆休職預金事業・緊急コロナ枠2020年岩手県・宮城県（計6000万円）</p>	